経営比較分析表（平成30年度決算）

岡山県　総社市

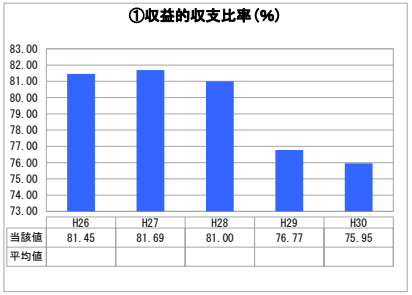
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	該当数値なし	60.12	79.04	2,790

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
69,151	211.90	326.34
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
41,478	9.04	4,588.27

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

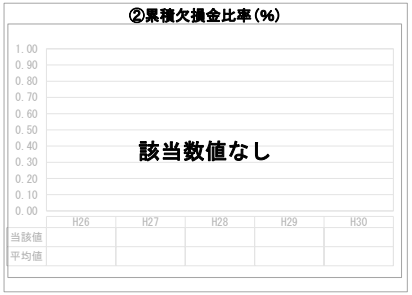
1. 経営の健全性・効率性

①収益的収支比率(%)



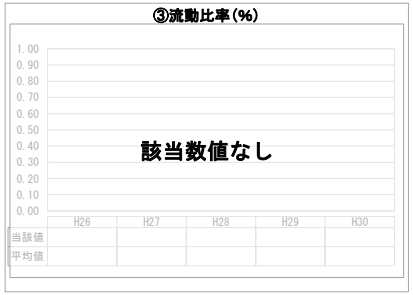
	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	81.45	81.69	81.00	76.77	75.95
平均値					

②累積欠損金比率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

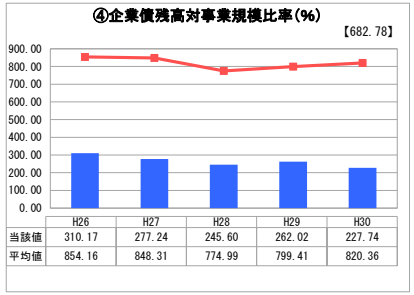
③流動比率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

④企業債残高対事業規模比率(%)

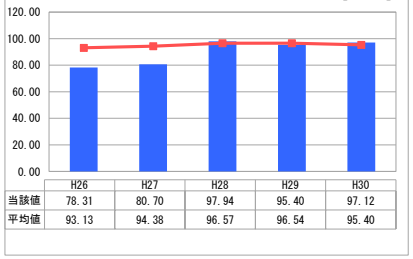
【682.78】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	310.17	277.24	245.60	262.02	227.74
平均値	854.16	848.31	774.99	799.41	820.36

⑤経費回収率(%)

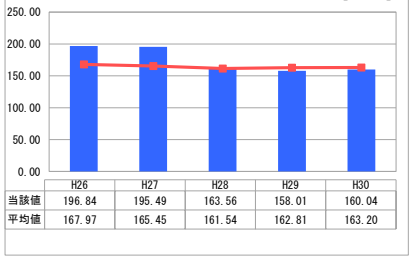
【100.91】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	78.31	80.70	97.94	95.40	97.12
平均値	93.13	94.38	96.57	96.54	95.40

⑥汚水処理原価(円)

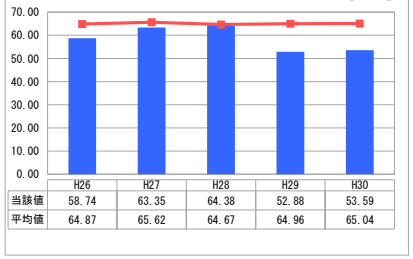
【136.86】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	196.84	195.49	163.56	158.01	160.04
平均値	167.97	165.45	161.54	162.81	163.20

⑦施設利用率(%)

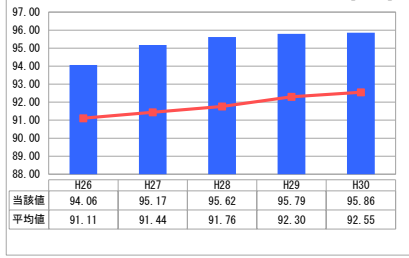
【58.98】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	58.74	63.35	64.38	52.88	53.59
平均値	64.87	65.62	64.67	64.96	65.04

⑧水洗化率(%)

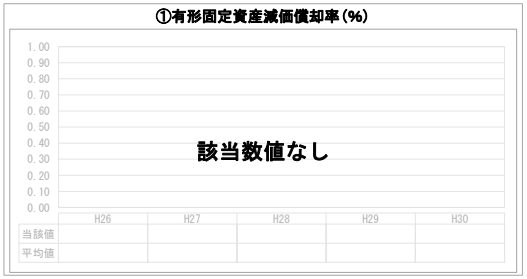
【95.20】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	94.06	95.17	95.62	95.79	95.86
平均値	91.11	91.44	91.76	92.30	92.55

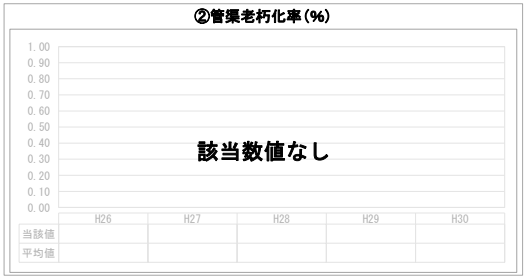
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

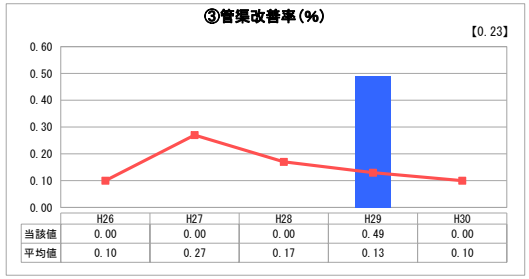
②管渠老朽化率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

③管渠改善率(%)

【0.23】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	0.00	0.00	0.00	0.49	0.00
平均値	0.10	0.27	0.17	0.13	0.10

※　法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「⑤経費回収率」及び「⑥汚水処理原価」については，類似団体と同等ではあるものの，「①収益的収支比率」は，減少しているため，全国平均に近づけていくなど，経営改善が課題となっております。
水洗化率については，全国平均を大きく上回っているものの，施設利用率については全国平均や類似団体平均値を大きく下回っており，施設の有効利用が課題といえます。

2. 老朽化の状況について

総社下水処理場については，順次計画的に必要な更新投資を行ってきてはいるものの，山手浄化センターについては，稼働後約３５年が経過し，更新方法について検討する必要があります。また，管渠の老朽化に対しては，まだ未着手でこれからということろであり，今後の課題といえます。
なお，「③管渠改善率」のH29当該値については，「0.49」を「0.00」に訂正。

全体総括

現在，経営の健全性については，一般会計からの繰出金に大きく依存しているため，操出金に依存しない経営体制を目指した改善が求められています。経営の改善については，今後も施設の老朽化に伴って更新費用の増大や修繕費の増大が見込まれてくる中では，経営状況の悪化が予想されるため急務の課題と言えます。
未普及解消事業から施設の更新へとシフトチェンジして一定の目途をつける中で，経費回収率や汚水処理原価は，類似団体平均よりわずかによい数値となっていますが，全国平均にはまだ届かない状況であるため，下水道使用料の見直しを検討し，経費の回収率を向上させていくことが今後の課題となっています。

経営比較分析表（平成30年度決算）

岡山県　総社市

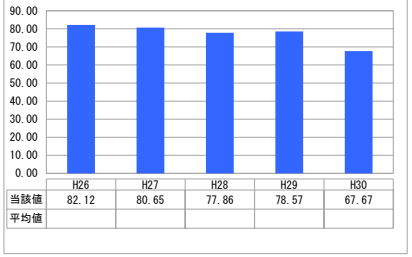
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	該当数値なし	1.48	91.23	2,790

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
69,151	211.90	326.34
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
1,024	0.44	2,327.27

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

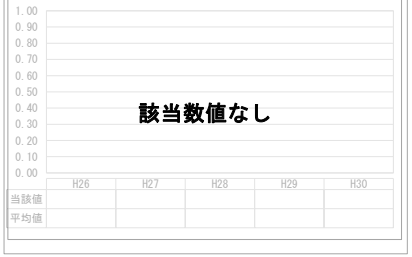
1. 経営の健全性・効率性

①収益的収支比率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	82.12	80.65	77.86	78.57	67.67
平均値					

②累積欠損金比率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

③流動比率(%)

	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

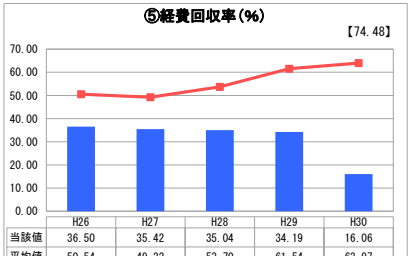
④企業債残高対事業規模比率(%)

【1,209.40】

	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	1,671.86	1,673.47	1,592.72	1,223.96	1,269.15

⑤経費回収率(%)

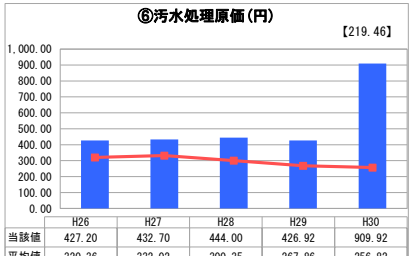
【74.48】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	36.50	35.42	35.04	34.19	16.06
平均値	50.54	49.22	53.70	61.54	63.97

⑥汚水処理原価(円)

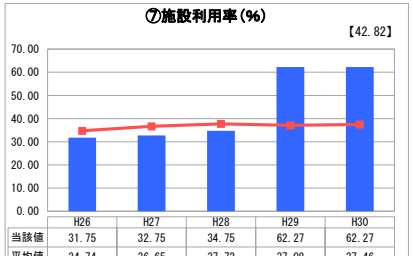
【219.46】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	427.20	432.70	444.00	426.92	909.92
平均値	320.36	332.02	300.35	267.86	256.82

⑦施設利用率(%)

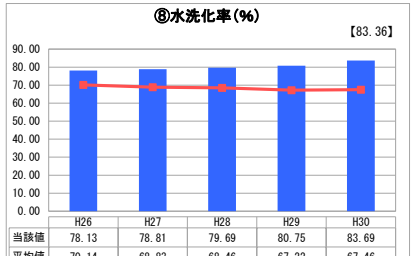
【42.82】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	31.75	32.75	34.75	62.27	62.27
平均値	34.74	36.65	37.72	37.08	37.46

⑧水洗化率(%)

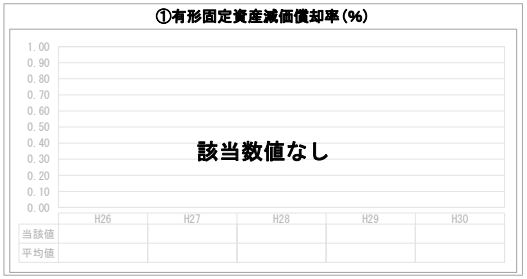
【83.36】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	78.13	78.81	79.69	80.75	83.69
平均値	70.14	68.83	68.46	67.22	67.46

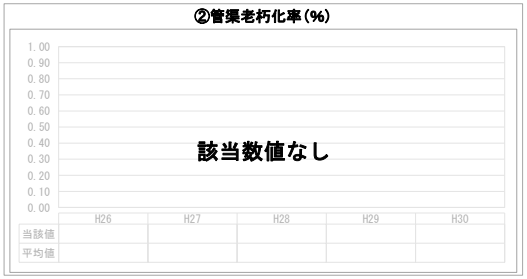
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

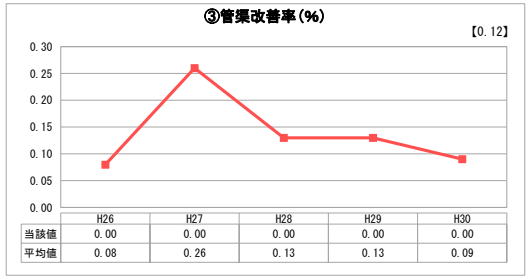
②管渠老朽化率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

③管渠改善率(%)

【0.12】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.08	0.26	0.13	0.13	0.09

※　法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①収益的収支比率」，「⑤経費回収率」及び「⑥汚水処理原価」については，平成30年7月豪雨により被災した施設の修繕に多額の費用がかかったため，前年より大幅に悪化しております。この影響を除いても，「⑤経費回収率」と「⑥汚水処理原価」については，全国平均及び類似団体平均よりも悪い状況であり，現在のところ経営の健全性や効率性について改善を目指していますが，将来的には大きな課題を残しています。

また，水洗化率及び施設利用率については，類似団体平均を大きく上回っており，今後も施設の有効利用に取り組みます。

2. 老朽化の状況について

美袋浄化センターについては，供用開始からまだ15年で，更新投資はまだこれからというところであり，今後の課題といえます。

全体総括

現在，経営の健全性については改善を目指しつつも，一般会計からの繰出金に大きく依存しています。

今後も施設の老朽化に伴って更新費用の増大や修繕費の増大が見込まれてくるため，経営状況の悪化が予想されるところです。

今後は，公共下水道と共に下水道使用料の見直しを検討し，経費の回収率を向上させると伴に，汚水処理原価についても全国平均並みに下げていくことが課題となっています。

経営比較分析表（平成30年度決算）

岡山県　総社市

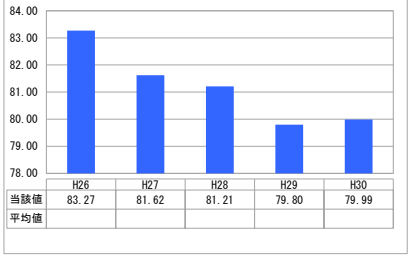
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	該当数値なし	8.54	100.85	3,450

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
69,151	211.90	326.34
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
5,893	2.35	2,507.66

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

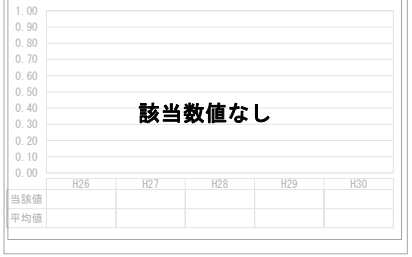
1. 経営の健全性・効率性

①収益的収支比率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	83.27	81.62	81.21	79.80	79.99
平均値					

②累積欠損金比率(%)



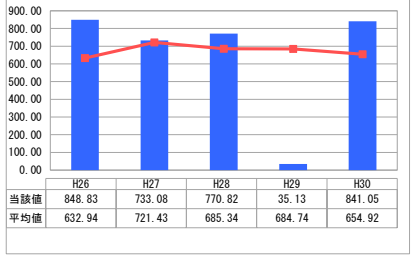
	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

③流動比率(%)

	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

④企業債残高対事業規模比率(%)

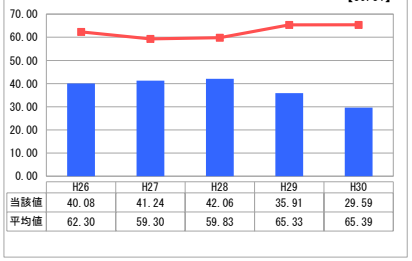
【747.76】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	848.83	733.08	770.82	35.13	841.05
平均値	632.94	721.43	685.34	684.74	654.92

⑤経費回収率(%)

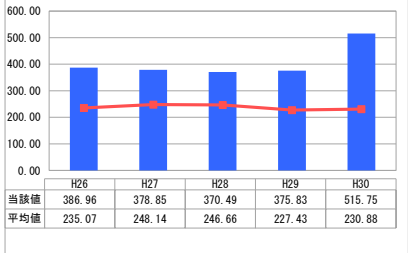
【59.51】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	40.08	41.24	42.06	35.91	29.59
平均値	62.30	59.30	59.83	65.33	65.39

⑥汚水処理原価(円)

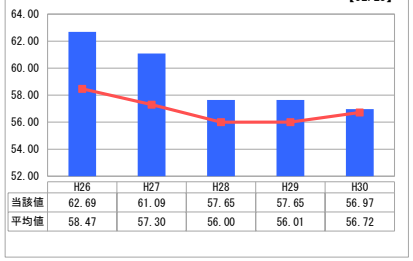
【261.46】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	386.96	378.85	370.49	375.83	515.75
平均値	235.07	248.14	246.66	227.43	230.88

⑦施設利用率(%)

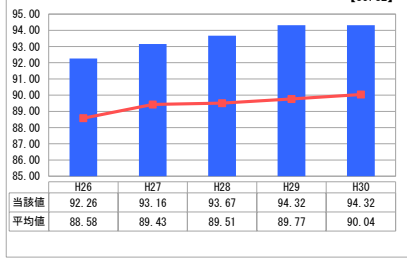
【52.23】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	62.69	61.09	57.65	57.65	56.97
平均値	58.47	57.30	56.00	56.01	56.72

⑧水洗化率(%)

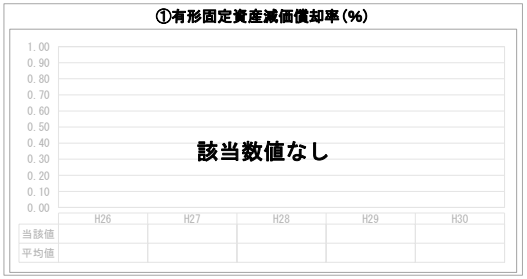
【85.82】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	92.26	93.16	93.67	94.32	94.32
平均値	88.58	89.43	89.51	89.77	90.04

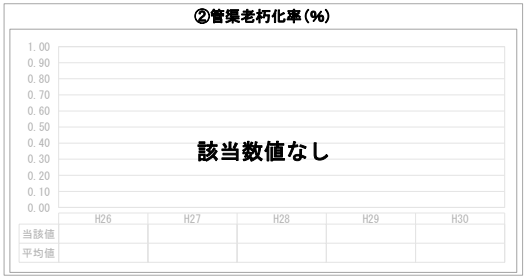
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

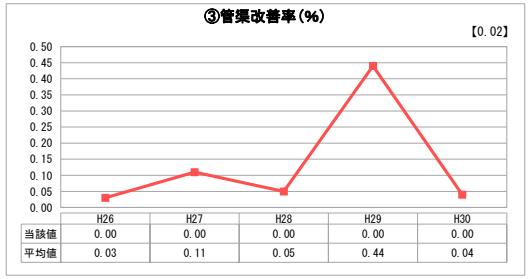
②管渠老朽化率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

③管渠改善率(%)

【0.02】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.03	0.11	0.05	0.44	0.04

※　法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①収益的収支比率」については，昨年度より若干の改善ができたものの，改善の必要が残されています。「⑤経費回収率」及び「⑥汚水処理原価」については，平成30年7月豪雨により被災した施設の修繕に多額の費用がかかったため，前年より大幅に悪化しております。この影響を除いても，「⑤経費回収率」と「⑥汚水処理原価」については，全国平均及び類似団体平均よりも悪い状況であり，現在のところ経営の健全性や効率性について改善を目指していますが，将来的には大きな課題を残しています。

そういった中で，水洗化率や施設利用率については，全国平均を上回っており，有効な施設利用ができているといえます。

なお，「④企業債残高対事業規模比率」のH29当該値については，「35.13」を「810.87」に訂正。

2. 老朽化の状況について

各処理施設については，必要な更新投資を先送りにしてきたため，年々維持管理に伴う修繕費が高くなってきています。

今後は，岡山県の計画に則り，令和２年度までに施設のストックマネジメント計画を策定した上で，順次施設の老朽化への対応として施設更新を行っていきます。

全体総括

現在，経営の健全性については改善されてきてはいるものの，一般会計からの繰出金に大きく依存していることは否めないため，今後も施設の老朽化に伴って更新費用の増大や修繕費の増大が見込まれてくる中では，経営状況の悪化が予想されるところです。

施設の更新へ目を向けていく中で経費回収率の向上のために農業集落排水処理施設使用料の見直しを検討していくと伴に，汚水処理原価についても全国平均並みに下げていくことが今後の課題となっています。